

タブレットを活用した名言紹介までの一連の活動と学習評価  
(Here We Go! ENGLISH COURSE 3 Unit 3 Lessons From Hiroshima)

①話・発

②個・表

③タブ

③TV

④ロイロノート

【ここがポイント！】

④Google スライド

①「タブレットを活用したスピーチ力の向上」

スピーチ練習時に、互いのスピーチの様子をタブレットで録画し、自らの姿から改善点を見だし、スピーチ力の向上やスピーチ内容の改善につなげることができる。

②「ロイロノートを活用したプレゼンテーション」

ただスピーチを聞くだけでは聴衆が内容理解をすることが難しいので、ロイロノートの付箋機能を活用し、モニターにキーワードを提示することで、聴衆がより正確に内容把握することができる。

【実践の目標】

ロイロノートの付箋機能を用いて、自分が紹介したい著名人についての情報（人柄や名言等）を原稿を見ずに、聞き手に正確に伝えることができる。

【実際の場面】

1. 情報を収集する

自分が紹介したい著名人についての情報（人柄や名言等）をインターネットで収集した。

2. ロイロノートの付箋機能を活用して、情報を整理する

ロイロノートの付箋にキーワードを記し、スピーチの順序を整えた。

3. スピーチ原稿を作成する

既習事項を活用して、自分が紹介したい著名人についてのスピーチ原稿を作成した。

4. 家庭等でスピーチを録画する

授業中や家庭等でスピーチ練習をし、自分自身のスピーチをタブレットで録画した。

5. グループで録画したスピーチを見せ合い、Google スライドで相互評価する

4で録画した自分のスピーチしている姿をグループで見せ合い、Google スライドに良い点と改善点を相互評価した。

6. スピーチの改善

他者のスピーチを参考にしたり良い所を取り入れたりして、5で出てきた改善点を克服し、自らのスピーチをより良いものにした。

7. スピーチ発表会〈評価〉

大型モニターにロイロノートの付箋を提示し、生徒とALTの前で発表した。生徒同士による相互評価、JTE・ALTによる評価を行った。

【成果と課題】

【成果】

○タブレットで相互録画したので、良い緊張感の中でスピーチの練習ができた。スピーチをしている自分の姿を複数回、複数のパターンで見ること、課題を多く見いだすことができ、自らのスピーチをより良いものにすることができた。

【課題】

○ICTの活用に関して、指導者自身の更なるスキルアップと、どの場面で活用すれば、より効果を得られるのか研修することが必要である。

